

保護者様 放課後等デイサービス評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	78%	22%	0%
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	78%	22%	0%
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	46%	54%	0%
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	87%	16%	0%
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	84%	16%	0%
	⑥	運動プログラム、自由遊び、制作活動、調理活動、所外活動等、事業所で提供される活動に満足しているか	78%	22%	0%
	⑦	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか	37%	54%	9%
保護者 への 説明等	⑧	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	84%	16%	0%
	⑨	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	84%	16%	0%
	⑩	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	65%	32%	3%
	⑪	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	31%	54%	15%
	⑫	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	71%	29%	0%
	⑬	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	78%	22%	0%
	⑭	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	75%	25%	0%

	⑮	個人情報に十分注意しているか	78%	22%	0%
	⑯	子供が写っている写真を使用する際、同意書等により保護者の同意は確認されているか	87%	13%	0%
	⑰	子供の写真をHP等で使用される際、個人情報に十分配慮なされているか	84%	16%	0%
避難時等の対応	⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	28%	72%	0%
	⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	53%	44%	3%
満足度	⑳	子どもは通所を楽しみにしているか	84%	16%	0%
	㉑	事業所の支援に満足しているか	81%	19%	0%
	㉒	職員の服装、接し方(態度)、言葉使いは、適切であるか？	78%	19%	3%

(いただいたご意見)

○災害等マニュアルについて

- ・地震防災マニュアル
- ・火災・水害・土砂災害等マニュアル
- ・感染症対応マニュアル
- ・防犯マニュアル
- ・熱中症対策マニュアル
- ・苦情解決マニュアル

○災害等の避難訓練：2～3か月に1回定期的に実施しております。訓練時の様子はホームページに掲載させていただきます。

○当事業所の人員体制について（サービス提供時間中）

*当事業所の人員基準として

「児童発達支援管理責任者1名」＋「児童指導員2名＋1名（理学療法士等加配加算）必要です」。

当事業所では、

- A児童発達支援管理責任者：1名（常勤）
- B児童指導員：3名（常勤2名、非常勤1名）
- C保育士：1名（常勤）
- D理学療法士2名（非常勤2名）

○上記Bの児童指導員の職員について以下の資格を有する職員が勤務に当たっております。

- ・医療系大学社会福祉学部卒業者1名（常勤）
- ・社会福祉士 1名（非常勤）
- ・教員免許取得者 1名（常勤）

○保護者様の交流の場として、年に数回運動の体験会を開催させていただきます。普段お子様たちが行っている運動を通じて問う事業所の療育を知っていただく機会にさせていただきたいです。

○令和2年4月の報酬

☆基本料金：1日当たり () は変更前の金額

平日放課後 (☆送迎あり)	約931円	
放課後等デイサービス		618円
専門職配置加算		209円
学校休業日 (☆送迎あり)	約1055円	(1001円)
放課後等デイサービス		738円
専門職配置加算		209円
加算料金		
送迎 (片道)		54円
欠席時		94円
その他		
おやつ代 (実費)		100円
創作活動にかかる材料費		実費

※処遇改善加算Ⅰ及び特定処遇改善加算Ⅱ算定により上記基本料金より約8.2%上乘せになります

○当事業所の療育 (専門性) について

当事業所では運動を主として脳の階層 (大脳・大脳辺縁系・脳幹) に対するアプローチを探求しながら療育を行っております。

これらは“理学療法士の専門性 (運動学・人間発達学・脳科学等)” を主とした医療的な視点から療育に取り組んでいます。

脳の発達を考える際に、左右の脳のバランスを整えることを主軸において取り組んでおります。